

国籍や文化の違いを超えた地域共生のあり方を考える

～実践現場からみえてきた課題から～

1 趣旨

これまで、日本地域福祉学会・東海北陸ブロックの愛知県として、研究会を開催してきました。2022 年度は、「なぜつながり続けるか、いかにつながり続けるか～多様な主体による伴走型支援の実践現場から探る～」をテーマに、つながることの価値や伴走型支援の展開可能性を探りました。2023 年度は、「若者を軸にした地域福祉のあり方を考える」と題して、地域福祉実践における若者支援の「新しいかたち」について検討しました。

これらのテーマを引き継ぎ、2024 年度は「地域福祉の推進主体としての移民（国籍、文化、言語の異なる人）」に焦点を当てることとしました。在留外国人は全国で 300 万人を超え、今後も増えることが予想されています。一方で彼ら、彼女らは「生活者」、「地域住民」として認識されているでしょうか。不景気による雇止め、在留資格の一方的な停止など、人権侵害ともとれる様々な問題が横たわる中、地域共生社会の一員としての理解が不十分であると感じざるを得ません。

これらの課題意識を基盤として、彼ら、彼女らとつながり合い、伴走するための方法論や、一方的な「支援の『受け手』としての移民」ではなく、国籍や文化の違いを超えた地域共生に向けた新しいかたちを様々な実践から模索していければと思います。

2 日時

2025 年 2 月 15 日（土）13 時 30 分～17 時

3 会場

金城学院大学 N1 棟 603 教室

（愛知県名古屋市守山区大森二丁目 1723 番地）

※定員 50 名

※オンライン（Zoom）とのハイブリッド開催を予定

4 参加費

無料

5 プログラム

（1）基調講演

テーマ：Beyond the difference 共に暮らす地域社会を目指して

～私たちは変わることができるか～

講師：多文化ソーシャルワーカー 神田すみれ氏（非会員）

(2) シンポジウム

テーマ：国籍や文化の違いを超えた地域共生のあり方を考える

～実践現場からみえてきた課題から～

シンポジスト：

特定非営利活動法人アイキャン（ICAN）事務局長 福田浩之氏（非会員）

金城学院大学人間科学部講師 松井康成氏（会員）

コーディネーター：金城学院大学人間科学部教授 朝倉美江氏（会員）

コメンテーター：多文化ソーシャルワーカー 神田すみれ氏（非会員）

6 進行

13時30分 開会

開会挨拶

13時40分 基調講演 神田すみれ氏 1時間20分

15時00分 休憩 10分

15時10分 シンポジウム 1時間50分

シンポジストによる実践報告（20分×2）

コーディネーターによる論点整理（35分）

コメンテーターによるコメント（10分）

相互のやり取り、会場からの質疑応答など（進行：コーディネーター）（25分）

17時00分 閉会

7 申込方法

Google フォームに必要事項を入力して申込み。（申込締切：令和7年1月31日（金））

<https://docs.google.com/forms/d/1BhZ9c4r46bvYelH-tC30ga6X-Ea1ewcMFAwqapj2kE8/edit?hl=ja&pli=1>

8 後援

愛知県社会福祉協議会

名古屋市社会福祉協議会